

授業科目	疾病論VI（精神）	単位	1	時間	15	履修時期	2年次 1学期
設定理由	主な精神障害と精神症状がある対象を理解し、その治療方法を学ぶ。						
学習目標	主な精神障害と精神症状がある対象とその治療方法を理解する。						
授業内容（講義ごとの内容）	1. 統合失調症 2. 気分障害 3. 神経症性障害 4. パーソナリティ障害、器質性精神病、てんかん 5. 知的障害、小児の精神障害 6. 依存症 7. おもな精神科治療 8. 試験					担当者（時間）	
						非常勤講師（15）	
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎（医学書院）						
備考							

授業科目	社会福祉論	単位	2	時間	30	履修時期	2年次 1学期
設定理由	国民の健康生活を守る上で必要な保健・福祉システムを理解するために社会保障・社会福祉の理念と諸制度を理解する。						
学習目標	変化する社会の動向に伴う医療に関する社会福祉・社会保障制度の活用方法を理解する。						
授業内容（講義ごとの内容）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保険制度と社会福祉 2. 現代社会の変化 3. 社会保険制度 4. 医療保険制度 5. 高齢者福祉 6. 障害者福祉 7. 児童家庭福祉 8. 試験(1～7) 9. 社会保健 10. グループホームとは 11. 介護保険制度 12. 個別援助技術（ケースワーク） 13. 社会保障 14. 社会福祉実践 15. 社会福祉の歴史 16. 試験(9～16) 						担当者（時間）
							社会福祉士（15） 社会福祉士（15）
評価	筆記試験						
テキスト	系統看護学講座 社会保障・社会福祉（医学書院）						
備考							

授業科目	関係法規	単位	2	時間	30	履修時期	3年次 1学期・2学期
設定理由	看護職に必要な法令、安全な看護の提供をするため、関係職種の業務の法的根拠と合わせて、法令に基づいた看護職の働きや責任について学ぶ。また、看護の対象である人間の生活、健康を支えることに関係する保健・医療・福祉の各分野の連携を法的に理解し、看護職の責任、役割を自覚し、看護マネジメントにいかせる能力を養う。						
学習目標	1. 人々の健康な生活を支えている法令、健康な生活を維持するために活用できる法令をそれぞれの関係性を踏まえて理解する。 2. 看護職として働くにあたって自らの身分や責任、業務を理解する。						
授業内容 (講義ごとの内容)	1. 看護に関係する法を学ぶにあたって 2. 現代医療の特徴、看護事故、医療紛争 3. 法的責任、民事刑事責任の区別 4. 看護に関わる基本的法律 5. 保健師助産師看護師の役割と法的責任 6. 薬務法 7. 民事責任、刑事責任、法的責任、事例検討 8. 民事責任、刑事責任、法的責任、事例検討 9. 試験・課題(1~8) 10. 医事法 11. 医療に関する広告、病院開設・管理・構造設備 12. 医療関係資格法、医療を支える法、共通保健法、分野別保健法 13. 保健衛生法、環境衛生法、社会保険法 14. 介護保険法、年金、社会福祉法、労働法 15. 試験(10~14)					担当者(時間) 専任教員(9) 薬剤師(2) 非常勤講師(8) 事務部長(11)	
評価	筆記試験 グループワーク・課題 (講義時に説明)						
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 (医学書院)						
備考							